

ヘボン生涯年表

2023.7.4 辻 幸宏作成

			年齢	生涯	医療	教育	辞書・ローマ字	教会	聖書翻訳	信仰告白・書籍	
1815	文化12年	03月13日		北米ペンシルヴァニア州ミルトンに生まれる。							1815
1831	天保2年	春	16	プリンストン大学3年に編入。							1831
1832	天保3年	秋	17	プリンストン大学卒業、ペンシルヴァニア大学医科に入学。	ペンシルヴァニア大学医科に入学						1832
1834	天保5年	冬	19					ミルトンの長老教会会員となる			1834
1836	天保7年		21	ペンシルヴァニア大学卒業。	医学博士(M.D.)の学位を取得						1836
1838	天保9年		23		ペンシルヴァニア州ノリスタウンで医師として開業。						1838
1840	天保11年	10月27日	25	クララ・メアリー・リート (Clara Mary Leete, 1818-1906) と結婚。							1840
1841	天保12年	03月15日	26	ボストンを出航し、7月シンガポールに到着。					ギュツラフ訳日本語訳聖書「約翰福音之傳」(1837)を入手。		1841
1843	天保14年		28	マカオを経由して廈門(アモイ)に到着する。	診療所を開設。		アモイ語の辞書を編纂。				1843
1845	弘化2年	11月30日	30	廈門を出発。							1845
1846	弘化3年	03月15日	31	ニューヨークに到着。 ※NY人口:約300万人	病院を開業。						1846
1859	安政6年	04月24日	44	北アメリカ長老教会の宣教医として、同じ志を持つ妻クララと共にニューヨークを出発。香港、上海、長崎を経由。							1859
1859		10月17日	44	神奈川に到着する。成仏寺に住む。ブラウンを迎える。							1859
1861	文久元年		46	クララ一且帰国。バラ来日	宗興寺(横浜市神奈川区)に神奈川診療所を設けて医療活動を開始。半年で閉鎖。						1861
1862	文久2年		47	居留地39に移る。	生麦事件。ヘボン2名を手当。	大村益次郎ら入門。					1862
1863	文久3年		48	クララ、アメリカより戻る。	箕作秋坪の紹介で眼病を患った岸田吟香を治療する。	横浜に男女共学のヘボン塾を開設(クララ夫人)。	当時手がけていた『和英語林集成』を岸田吟香が手伝うようになる。				1863
1864	元治元年		49			横浜英学所開設(~66.10)。高橋是清入学。					1864
1865	慶応元年		50					6月、日用バイブルクラス(日曜学校)開始。11.5 矢野隆山、授洗(バラより)。			1865
1866	慶応2年	10月18日	51	上海へ			『和英語林集成』の印刷の為に岸田吟香と共に上海へ渡航する。				1866
1867	慶応3年	5月	52		三代目沢村田之助の左足切断手術。		日本最初の和英辞典『和英語林集成』を編纂し出版(平文)。		ヘボン、バラ、タムソン、マタイ伝翻訳で集合。	「真理易知」刊。	1867
1868	明治元年	8-9月	53	モンゴル、樺太、北海道方面を旅行(6週間)。	診療所を売却。新診療所・集会室を建設。						1868
1869	明治2年		54	ヘボン単身で帰国(2-9月)。	横浜居留地39番で診療を始める。						1869
1870	明治3年		55			9.21 ギター、ヘボンの診療所で学校(日本初の女学校フェリス女学校創立)		毎日曜日、礼拝堂で英語礼拝を行う。			1870
1871	明治4年		56	上海へ(11月-翌年7月)			『和英語林集成』再版印刷のため再び上海へ。				1871
1872	明治5年	10月	57	クララと共に一時帰国。			『和英語林集成』再発刊。	横浜の自宅で第一回在日宣教師会議を開催。横浜公会設立。	同僚の宣教師らと福音書の翻訳を開始。「馬可伝」、「約翰伝」刊。	ヘボン・奥野昌綱訳「三聖文」刊。	1872
1873	明治6年	11月	58	再来日・キリシタン禁令解除					「馬太伝」刊。	ヘボン・奥野昌綱訳「さいはひのおとづれわらべてびきのとひこたへ」	1873
1874	明治7年	9月	59					9.13 横浜第一長老公会(横浜指路教会)設立。牧師:ヘンリー・ルーミス。	3.25 聖書翻訳委員社中(委員会)発足。	「十字架ものがたり」刊。	1874
1875	明治8年		60					1.5 日本基督長老会特別会議			1875
1876	明治9年		61	居留地39を離れ、山手に転居。	診療所を閉鎖。	ヘボン塾をバラに譲渡。		11.26 横浜住吉町教会(名称変更)献堂式。	1.4 Jesusの訳語「イエス」に決定。	「耶蘇教略問答 全」「教会政治」刊。	1876
1877	明治10年		62			東京一致神学校創立。		日本基督一致教会設立			1877
1878	明治11年		63					教会籍を日本基督一致住吉教会に移す。			1878
1879	明治12年		64							「耶蘇教略問答 全」改訂版刊。	1879
1880	明治13年		65			ヘボン塾を東京に移し、東京一致英和学校設立。			新約聖書の和訳を完成。	「ウエストミンスター信仰簡条 全」刊。	1880
1881	明治14年		66	スイスで静養(3.17-82.1.26)。							1881
1882	明治15年		67	横浜に戻る。					旧約聖書翻訳委員会委員長。		1882
1885	明治18年		70				羅馬字会設立、ヘボンは顧問。第3版完了。				1885
1886	明治19年		71			東京都港区白金の地に明治学院(現・明治学院高等学校・同大学)として統合し、明治学院初代総理に就任した。	『和英語林集成』第3版を出版。ローマ字で日本語を綴って発音を示した。版權を丸善に売却(2000ドル)。利益は、明治学院へ寄付。		ヘボン訳ローマ字新約聖書、イギリス聖書協会から出版。12.31 日本語旧約聖書翻訳完了。		1886
1887	明治20年		72		明治学院の生理学・衛生学の教授に。						1887
1888	明治21年		73						2.3 旧約聖書(明治元訳)完成。		1888
1889	明治22年		74	指路教会建築費のため献金を集めるため渡米(4.8-12.8)。						2月「聖書辞典」編集始める。	1889
1890	明治23年		75					日本基督教会設立			1890
1891	明治24年		76			明治学院総理を辞す。					1891
1892	明治25年	10月22日	77	妻の病気を理由に離日。11.10 SF到着				1月、指路教会献堂式。		6月、『聖書辞典』を山本秀雄と編纂。	1892
1893	明治26年		78	ニュージャージー州イーストオレンジに居を構える。				11.27 ブリック長老教会で長老の選ばれる。			1893
1905	明治38年	03月13日	90	勲三等旭日章が贈られる。							1905
1906	明治39年		91	クララ、死去。							1906
1911	明治44年	09月21日	96	死去。		ヘボン館、全焼。					1911